

# 第3学年道徳科学習指導案

令和2年11月27日（金）第5校時  
四万十市立東中筋中学校 第3学年 17名  
授業者 沖屋 あずさ

- 1 主題名 公徳心 C（10） 遵法精神、公徳心
- 2 ねらい ベビーカー論争について考えることを通して、社会生活を円滑に営むために必要な公徳心の大切さに気づき、社会の一員として規律ある安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。
- 3 教材名 「ベビーカー論争」（出典：中学生の道徳「自分を考える3」 廣済堂あかつき）

## 4 主題設定の理由

### （1）ねらいや指導内容についての教師の考え方

社会では様々な事情や立場の人々がともに生活している。人間が集まって社会が形成されると、「私」と「私」の利益がぶつかりあって、集団のまとまりがなくなり、結局一人一人の願いが実現できなくなることがある。

「法やきまり」はこの集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするために、人間の知恵が生み出したものである。また、社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由が保障される。法やきまりの意義を理解し、社会生活における公徳心の大切さに気づき、遵法精神とそれを支える公徳心を大切にして、規律ある安定した社会の実現に努めようとする意欲を高めるために本主題を設定した。

### （2）生徒の実態と教師の願い

本学級の生徒は、服装の違反などもなく、学校生活の中では概ね決まりを守って生活ができている。しかし、周りに流されたり自分の弱さに負けてしまい、ルールがしっかり守れていないこともある。公共の場所を利用する場合に、周囲に対する配慮ができているかなど、社会の一員としての自覚をもち、公共のマナーや利益を守ることの大切さを考えさせたい。

### （3）使用する教材の特質及び生徒の実態とかかわらせた指導の方策

公共の場におけるベビーカーの利用をめぐる意見の対立を取り上げた教材である。混雑した場所でベビーカーを押すのはマナー違反か否か。賛否それぞれの立場からの主張は対立しているが、根底にある考え方は共通している。導入では、「決まり」と「マナー」の違いについて問う。1ヶ月ほど前に「元さんと二通の手紙」を学習しているので、「決まりは守らなくてはいけないもの。」と考える生徒が多いと思う。「マナー」は守らなくても罰則はないので、お互いの心の持ちようが大切になってくる。中心発問で、混雑した場所でベビーカーを使うことがマナー違反だと考える人達がどうしてそう思うのか、その意見について自分がどう思うのか、ということをしっかり考えさせ、様々な立場の人の視点で考えさせる。事情や立場の違う人々が集まっている社会では、「譲り合い」や「お互い様」という心が大切ということを考えさせていきたい。

## 5 本時で期待する生徒の姿

[授業前の生徒の考え方]

- ・自分の都合でルールを守らないことがある。
- ・周囲に対する配慮が不十分な面がある。

→ [授業を通して高めたい生徒の考え方]

- ・周囲の人々は思いやりをもってベビーカーを使う人々を受け入れる。
- ・みんな立場や事情が違うことを理解して、「お互い様」という気持ちで支え合う。
- ・自分も社会の一員であるという自覚を持ち、公共のマナーを守りたい。

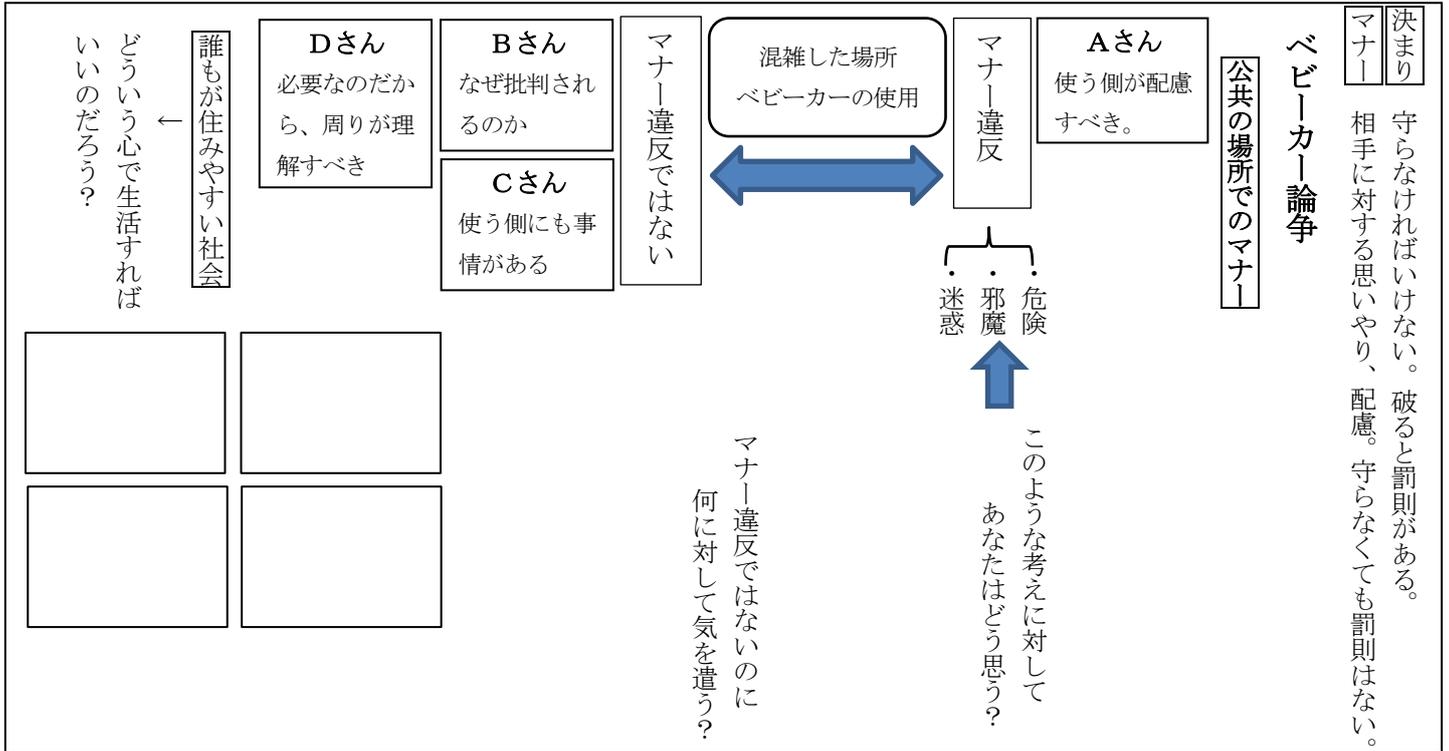
## 6 準備物 掲示物・ベビーカー・朗読CD

7 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 ◎中心発問	指導上の留意点
導入	1 本時の題材を知る。	○「マナー」と「決まり」の違いは何だろう。 ・「決まり」は守らなければいけない。破ると罰則がある。 ・「マナー」は相手に対する思いやり、配慮。罰則はない。	
展 開	2 教材を読み、考える。 (1) A～Dさんの立場や、主張の内容を整理する。  (2) 公共の場でのベビーカーの使用がマナー違反になるのか考える。	□ベビーカーを使っている4人が、それぞれがどのような主張をしているのか簡単に整理する。 ・Aさん⇒使う側が配慮すべき。 ・Bさん⇒なぜ批判されるのか。 ・Cさん⇒使う側にも事情がある。 ・Dさん⇒必要なのだから、周りが配慮すべき。  ◎混雑した場所でベビーカーを使うことはマナー違反になるのだろうか？ ・必要があって使うのだから、マナー違反ではない。 ・マナー違反ではないが、周りへの配慮が必要だと思う。 ・何かルールや決まりがあればいいのではないか。 <b>【補助発問】</b> ◇マナー違反だと思っている人たちは、どういうところを違反だと思っているのだろうか。 ・混雑した場所で使うのは邪魔である。 ・お年寄りなどがいると危険なこともある。 ・大勢の人がいて狭いのに、場所をとって迷惑だ。 ◇そのような考えに対して、あなたは思うだろう。 ・お母さんたちは必要があって使っているのだから、周りがもう少し理解してあげなくてはいけない。 ・周りの人が、配慮してあげたらいい。 ・公共の場所は誰でも使っている所なので、マナー違反だと言う方がおかしい。 ・使用する側も「すみません」など、一声掛ければいいのではないか。 ◇マナー違反ではないのに、ベビーカーを使用する人は、何に対して気を遣っているのだろうか。 ・冷たい態度や心ない言葉      ・無言のプレッシャー	・A～Dさんが、公共の場でベビーカーを使うことについて、どのような意見を持っているのか簡単に確認する。  ・相対する意見について、多角的に考えさせる。 ・補助発問をしながら、考えを深められるようにする。
	3 公德心について考える。	○誰もが住みやすい社会にするために、私たちはどういう心で生活すればいいのだろう。 ・自分のことだけでなく周りのことを考える。 ・相手の立場や事情を思いやり、助け合う。 ・困った時は「お互いさま」という気持ちを持つ。 ・マナーやルールを守る。	・公共の場で必要な公德心について、自分と重ねながら、多面的・多角的に考えさせる。
終末	4 感想をまとめる。	○今日の授業を通して、感じたことや考えたことを書く。	・道徳ノートに記入させる。

【評価の主な視点】 ベビーカー論争について考えることを通して、社会生活における公德心の大切さについて考えを深めた記述・発言が見られる。

8 板書計画



9 他の教育活動との関連

